

お客様各位

春の訪れが待ち遠しい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

昨年の東日本大震災より1年が経過しようとしております。

あの震災を機に、皆様の経営に対する考え方も大きく変化されたと思います。

景気の悪いことを震災のせいにすることもできますが、

ここは、ピンチをチャンスと捉え、

今までとは違った考え方でビジネスを方向転換できた経営者が

確実に力を付けてきているようにも思えます。

困難な事象が起きたときに、そのせいにして逃げ出してしまうか、

チャンスと捉え、前進できるかが大きな境目であると思います。

皆様方におかれましては、経営上の難題にぶつかった時、

是非、前向きに捉え進んで行っていただきたいと思います。

私たちも、貴社の前進をお手伝いしてまいります。

皆様の、ご健康と貴社のご隆盛を祈念いたしております。

## 須黒会計インフォメーション

平成 24 年 3 月号

I N D E X

1. 【経営情報】 [捨てることと磨くこと](#)
2. 【会計税務】 [現物給与と源泉所得税](#)
3. 【ヒント・ヒント】 [手書きで](#)
4. 【書籍紹介】 [今月ご紹介する本は「ドラッカーと会計の話しよう」](#)
5. 【お役立ち情報】 [経営体力診断のご提案](#)

## 1. 【経営情報】捨てることと磨くこと

### 【捨てることと磨くこと】

充実した毎日を送りたい、もっと違う生き方をしたい、と思う方に読んでいただきたいと思います。

#### 「パラダイムシフト」

人は皆、自分自身の考え方、つまり価値観というフィルターを通して判断し行動しています。

このフィルターを自己パラダイムと言います。

自己パラダイムとは、「自分の考え方、動機、歴史、先入観、習慣、癖、行動など」のことです。

ではどのようにして自己パラダイムが出来上がったのでしょうか？

生まれたての赤ちゃんのときの人格は真っ白なキャンパスと同じです。

「三つ子の魂百まで」と言うことわざがあります。

善悪の判断、欲求のコントロール（我慢）、基本的な礼儀作法などを教えるにあたっては、自我が芽生える3歳ごろがしつけの最初の適齢期であると考えられ、人格の基本的なところは3歳までに60%が決まってしまい、6歳くらいになると90%が決定してしまうと言われています。

6歳くらいまでという一番影響を与えてくれるのが親です。

つまり、自分のパラダイムの基本は親から渡されたものなのです。

その上に、自分自身の体験や経験から培われた習慣、先入観、癖などによって現在のパラダイムが出来上がったのです。

このパラダイムを良い方向に転換させていくことをパラダイムシフトと言います。

自己パラダイムを客観的に見つめ直し、自分自身の自覚によって書き換えることがパラダイムシフトです。

#### 「リパーキング」

リパーキングとは、自分の人生の中で、自分の持ってきた持ち物を見直すということです。

まず、自分自身が今まで持ってきた荷物（価値観やスキル）を一度全部机の上に広げます。

必要なものと不必要なものを選別（荷物の再チェック）します。

いらぬものは人生からおろします。

どの山へ登っていくか決める（方向性）とともに行かない方向も決めます。

そして必要なものだけ持って、足りないものを補い新しいものに入れ替えて出発をします。

人間は両手しかありません。

欲しいものを取りに行くときは、片方の手の中のを捨てなければ新しいものは掴めないのです。  
無理して持とうとするから大切なものまでボロボロと落ちてしまいます。  
成功者は本当に大事な1つのものしか持ちません。

パラダイムシフトとリパーキングを組み合わせます。

自分が何をしたいのか？自分に何ができるのか？自分がどうなりたいか？

登る山を決めます。

登る山とは、仕事や人間関係など、自分と社会とどう係わりあって生きていきたいかです。

と同時に自分の持っている荷物をすべて机の上に広げてみてください。

荷物とは、考え方や生活習慣や価値観。さらにスキルや知識などの能力です。

その荷物で目指す山に登れるでしょうか？

まず、いらぬものを捨ててください。

必要なものだけ持ち、足りないものは努力により補います。

頼りない足取りですが、荷物を担いで再出発です。

決断したら後は突き進むだけです。

決して振り返らない、脇道にそれない強い意志が必要です。

「なんで自分だけ、こんなに大変な思いをしなければならないのか」と思うかもしれません。

しかし、それは、自ら願った幸せに通じる道なのです。

涙あつての笑いです。

苦労あつての歓喜です。

苦難が人を磨き輝かせます。

素晴らしい体験を重ね、自らを磨くのです。

それが信念となり、パラダイムがシフトされます。

自分を磨くのに近道はありません。

「いらぬものを捨てること、自分自身の逃げ道を断つこと」

さあ、自分との戦いに挑戦してみませんか。

## 2. 【会計税務】現物給与と源泉所得税

会社や個人事業主が人を雇用した場合には、支給する給与について、その支払の都度、支払金額に応じ

た所得税を源泉徴収し、支払った月の翌月 10 日までに国に納付しなければなりません。また、年末には、年末調整という作業も加わります。

ここで注意したいのは、現金で支給したものはもちろんのこと、現物で支給したものでも税務上は給与とされる場合は、源泉徴収を行う必要があります。

#### 考え方

給与所得を有する者が、その使用者から受ける金銭以外のもの（経済的利益を含む）で、職務の性質上欠くことのできないもので政令に定めるものは、非課税とされます。非課税となる現物給付には、次のようなものがあります。

1. 職務の性質上制服を着用すべき人がその使用者から支給される制服その他の身回品
2. 1. に該当する人がその使用者から制服その他の身回品の貸与を受けることによる経済的利益
3. もっぱら勤務場所のみにおいて着用する事務服・作業服等

前記の「身回品」とは、職務の性質上着用すべき制服と一体となる帽子、シャツ、ネクタイ、手袋、靴、靴下、き章等で、制服とともに着用すべきものをいいます。

#### 例示

職務の性質上制服を着用すべき人とは、次のような人です。警察職員、消防職員、刑務職員、税関職員、自衛隊員、鉄道職員、船舶や航空機の乗組員、郵便職員、電気・ガス会社等の集金人、守衛、エレベーターガール、ガードマン

#### 留意点

私用には着用しない或いは着用できないものであることや、対象者が全員又は一定の仕事に従事する者全員を対象としていることがポイントです。

### 3.【ヒント・ヒント】 手書きで

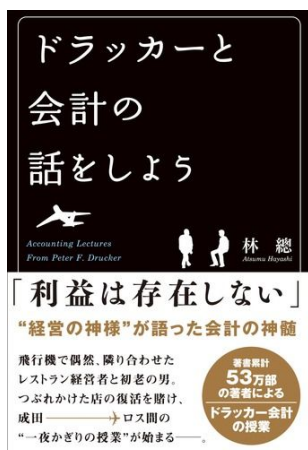
ハーゲンダッツジャパン社長馬瀬紀夫氏の仕事術。

経営者の仕事とは、突き詰めれば、決断を下すこと。最善の決断を下すためには「書く」と「歩く」ことが大切。まずは会議で得た数値や部下の報告、メディアの情報などあらゆる情報を集め、手書きでノートする。

大切なのはメモを取り続け、思考を整理し、経営判断を下すこと。

しかし、どんなに情報を集約し、自分なりに整理しても迷うことはある。難しい判断を迫られた時は、外へ出て、商店街や川沿いを、ひたすら歩く。すると徐々に頭が冴え、客観的に物事を捉えて、冷静な判断が下せるようになる。それでも迷うときは、自分の良心に従う。 日経ビジネス所載。

#### 4. 【書籍紹介】 今月ご紹介する本は...「ドラッカーと会計の話しよう」



##### 「ドラッカーと会計の話しよう」

“経営の神様”が語った会計の神髄です。飛行機で偶然、隣り合わせたレストラン経営者と初老の男。つぶれかけた店の復活を賭け、成田からロス間の“一夜かぎりの授業”が始まる。マネジメントにとって管理会計が如何に大事かを発信し続けてきた、P・ドラッカーの会計学に触れてみませんか。

#### 5. 【お役立ち情報】 経営体力診断のご提案

以下のご提案内容のうち、一つを無料にてご提案いたします！

<ご提案内容>

##### 1. 経営体力診断

企業を人間の身体に見立てて、御社の過去の実績から分析・測定し、「経営体力」の総合評価をみるとともに、現在の重点課題を明らかにします。

##### 2. マネージメント・パワー(社長ご自身の経営行動診断)

社長様へのアンケート回答にもとづき、ご自身の経営姿勢(思考と行動)の現状診断を行います。

このメールマガジンは、須黒税務会計事務所及び株式会社リードコンサルトを通して、

